

シマシタ

ハ

ワニタ、カシヤモ日本ノ兵隊ガ
カ恐ロニイノテ、十二月十日
頃一家族全部、サマル州
ハサイ所、カロアイヤニ部、落
ニ遊難ニシタ様テ、ス
他ニ申レ立テル事ナキヤ。
アリ、マセン

陳述人

Simata Aquino

通車

桂宗平

右讀ニ聞ケタル處相違ナキ旨
申立テ署名捺印セリ

昭和十八年一月二日、多クロバン憲兵介隊

陸軍司法警察官 陸軍憲兵曹長 渡邊孝彦

國籍

比律賓

聽取書

本籍
現住所
レイテ州、ヌナワン所、カロソ、部、落
右旨

ト口テヤ、レト、マヤ(女)

方十五才

抗者昭和七年十月
於本職ニ対シテ、陳述ヲ為シタ
日現住所

私ノ國籍、本籍、現住所、氏
名、年令、ハ前記ノ通、相違
アリマセン

私ハ現住所ニ、五十年迄、住
ニテ居リ、ムシテ、日本軍力私

字前降

一、家ノ隣ニ十月ノ初旬頃カ
 シ来テ橋ヲ築キ戒ルニ抑ニ十
 キマシタ
 日本軍ハ私達ヲ保護シテ是
 レル事ヲ知ラセ居リマスカラ
 恐レクハアリマセン 言葉カ通
 シテラテ兵隊サン言ワタストカ
 良ク解ラナイ時カアルノテ困
 ルトヤカリマス
 私ハ只今ヨリ日本ノ軍人サンカ
 婦人ヲ強姦シタト言フ噂
 一就テ由 上ケマス
 十二月ノ初メ頃ト思ヒマス 日本
 軍ニ協力シテサル元米此軍

字前降
字前降

ノ投降降兵ノ名前ノ忘レマシタ
 カ甚一人カラ日本ノ軍人カ強
 姦カ此ハ此言フ女ノ五人カ子
 供ヲ抱イテ其ノ投降降兵ノ家ニ
 来タト言フマトヤ出ナイテ驚カ
 マシソレテ私ハ甚ノアリサ
 マク尋ネマシタ
 其有様ハ次ノ通りアリマス
 日ハ忘レマシタカ十二月ノ初メ頃
 ト思ヒマス 彼ノ八時頃小川
 ト言フ兵隊サント云フ一人ハ
 驟然ノ濃イ眼鏡ヲ掛ケ
 タ兵隊サン二人ハ少シ酔ッ
 テ居也タラシイテス二人ノ息

字前降

字前降

四

一五前降

一五前降

字前降

字前降

孫サハハマテヤ、アヤボ(女)千不
 位、家ニ行カ乳児ヲノアルノオ
 家ニ置イテマテヤアヤボカケテ
 携ノタマハト兵隊サンノ家ニ在
 レテ行カシタソウナス、スルト乳
 児ハ大度大キイ声テ泣出ニタ
 ノテマテヤアヤボノ夫ハハロヤシ
 ハ乳児ヲ抱イテ妻ノ行ワタ
 ト思ハレル擧ノタニ外ノ兵隊
 ガン物ノ家ニ行ワテ見スニタカ
 甚慮ニハエ流ナカワタソウナス
 病イ多ク途申デテトカハシ
 テ強姦サレタダ口ヲト思ヒ
 マス

一五前降

五
 マテヤアヤボノ夫ハ泣ク探シタ
 ケトト居ナカワタノテ帰ルテ見
 マスト家ニハ彼ノ妻ハ居タソウ
 ナスニ人ノ兵隊サンノ多ク快
 楽ヲ味合ハレタ事ト思ヒマス
 彼ニ申立ワルニト電ヤヤ
 ナ流ニタ以外ニハ存シテ居
 リマセン

陳述人 *Shunata Kishio*
 通事

取録取シ読ミカケタル處相違ナク旨
 申立ワルニ付署名出来サリシテ以テサ
 イニサバルナラシテ代筆セシメ捺印
 セシム

昭和十七年十月二十九日

在レイテ州タナワン所カワコック部

トコヤ、レドニヤ宛

陸軍司法務寮収隊軍憲兵隊長 北里 謹

昭和十七年十一月

傷害事件